



未来を夢見て

2020/9/11 No. 34

「こころ」が育つ、四つの言葉

それぞれの学校には、明文化されていませんが、大切にしていること（もの）があります。

例えば小野小学校の教職員の打合せは、進行の「お願いします」で始まって、「ありがとうございます」で終わります。どちらも心に残るよい言葉で、いつも背筋が伸びる思いで聞かせていただいています。

写真は子供たちの昇降口に掲示してある「こころがそだつ 四つの言葉」です。「～しよう！」と書いてあるところに強制でなく、自発的にこれらの言葉を使わせたい、という思いが込められているように思います。

でも、掲示してあるだけでは「絵にかいた餅」。

こんなに素晴らしい宝物があるのに、使わないのはもったいないですね。そこで、提案です。

例えば朝の会の最後に、先生方と子供たちと一緒にこれらの言葉を（マスクをして）斉唱する時間を設けてはいかがでしょうか。先生と一緒に読んでもいいし、先生の後に続いて読んでもいいと思います。

あるいは、今は全校で集まる機会がないので、放送での呼びかけの後に一週間に一度は全校で読んでみるものいいですね。

一日一回読むだけでも、子供たちの口から「はい」「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が出てくるわけです。次回の職員会議で改めて提案したいと思っています。

さて、10日（木）は6名の交通指導隊の皆さんにおいていただいて1年生の交通教室。担当の猪股先生、そしてバックアップに奔走した島貫先生お疲れ様でした。

写真下から2番目は、今野さんに一昨日設置していただいた標示です。交通教室は終わりましたが、交通事故から子供の命を守るために、毎日子供たちを見守っていきましょう（と思っていたら、今朝、私の目の前で横断歩道を渡らないで走っていく子供が2名。車がゆっくり走っていたのでことなきを得ましたが、本当に危なかったです）。改めて子供たちに交通ルールを教えることの難しさを感じていました。

校舎一階のクラブ活動の掲示板に、たくさんの連絡事項が書かれていました。今日が第一回目のクラブ活動です。感染症対策の影響で、なかなか再開できなかったことの一つですが、担当の早智先生はじめみなさんの協力で今日から活動が始められるようになりました。だれより子供たちが喜んでいることと思います。

昨日の打ち合わせで、音楽主任の靖子先生と体育主任の優先生から、音楽の授業とボールを使った運動についての今後の取り組み方について提案がありました。まだまだ制限がある中での活動ですが、今なお県内で感染が続いている状況を踏まえると、これも仕方ありません。

今後も感染症対策は気が抜けませんが、クラブ活動や音楽部や体育部の担当の先生方に提案していただいたように、知恵を出し合い、工夫を凝らして、子供たちのためにお力を貸してください。

（文責：手代木）

